

10キロ駅伝走った NJ日本人学校児童



上で、児童生徒と教職員が目指したことは、「自分のベスト記録への挑戦」「チームメイトの走り、全校児童生徒のがんばりを応援することでお互いを称えあう」ということだったが、子供たちの力走する姿、声を枯らして応援する様子から、その目標は十分に達成できたようだった。

学校敷地内に設けられた特設の駅伝コースには、多くの保護者が応援に駆け付けて、子供の頑張る気持ちを後押しするように温かい声援を送った。

ニュージャージー日本人学校（岡村富広校長、児童生徒数53人）では、10月8日に体育の授業の一環として全校児童で「NJS EKI-DEN 2015」と題した駅伝を行った。

初等部の1年生から中等部の9年生までが7チームに分かれ、約10キロの距離をチームカラーのたすきでつないだ。駅伝発祥の地で

ある日本の文化を取り入れ、体育の時間に練習し、各自の持ちタイムをもとにチーム編成を行った。駅伝を全校児童生徒で取り組む

週間NY生活 10月17日